令和8年度　大田区立清水窪小学校　自己評価　報告書

○ 本校の概要

令和8年7月28日

・児童数346　学級数12　教員数18(9月1日現在)　　開校94周年(11月22日)
・平成23年度より「おおたサイエンススクール」指定校(大田区教育委員会理科教育推進拠点校)、平成25年度より「文部科学省教育課程特例校」として独自教科「サイエンス・コミュニケーション科」を新設、東京科学大学と連携した科学教育を推進
・令和5年度より「コミュニティ・スクール」として学校運営協議会及び地域学校協働本部(清水窪応援隊)を設置
・令和6・7・8・9年度 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校　・令和5・6年度大田区教育委員会教育研究推進校に指定　研究主題「未来の科学を担う『科学大好きなこども』を育てる」
・令和8・9年度大田区教育委員会教育研究推進校　新規校に指定　・こどもの生きる力を育むプログラム「大田区における特色ある教育の推進」事業実施校として、和太鼓学習「清水窪かしわ太鼓」を実施

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果指標の段階	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	○	コメント
個別目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 (理科教育推進指定校)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートで「おおたサイエンススクールとして、児童の科学への関心や能力を高めている。」の肯定的な回答の割合(4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満			A B C D		
		②学校内外での様々な体験活動やマイキャリアノート等で自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 (キャリア教育)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報モラル、情報活用能力の育成を図っている。 (ICT教育　情報モラル教育)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標2 世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、国際交流活動等豊かな国際感覚の育成を図っている。(国際教育)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者による公開授業アンケートにおいて「和太鼓発表会では、こどもたちが生き生きと演奏していた。」の肯定的な評価の割合((4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満			A B C D		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。(地域への愛着、誇りを育む教育)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。(持続可能な社会づくり)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や命の教育、道徳心の育成を図っている。 (読書活動、命の教育、芸術体験)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童アンケートで「友達と仲良く過ごしている」の肯定的な回答の割合(4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80未満			A B C D		
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		(健やかな体の育成)③体育や保健の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、体力向上、健康づくり基本的な生活習慣の確立を図っている。 (体力向上、健康づくり)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		⑤たてわり班活動を実施し、異学年の交流を通して互いに認め合う態度や思いやりの心を醸成している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標4 学校力・教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	(新たな授業モデルの構築と授業の充実)①児童一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。(教師の授業力向上)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者による公開授業アンケートにおいて「授業の進め方は、こどもたちにとって、分かりやすかった。」の肯定的な評価の割合((4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満			A B C D		
		(運営力の向上)②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。(学校組織の活性化)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
		④校内研究等を通して、サイエンスコミュニケーション科や各教科等の授業力向上を図るための取組を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標5 自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	(支援体制(一貫支援)共生社会へ)①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。(多様な学びの場)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートで「教職員は誠実にこどもや保護者に接している。」の肯定的な評価の割合(4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満			A B C D		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施また不登校児への支援、居場所づくりを行っている。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。(教育相談、一保護者支援、外国人への教育、多様な悩みー)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標6 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境をつくります	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートで「教職員は、教育環境の工夫、美化に努めている。」の肯定的な評価の割合(4段階上位2位までの割合)	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70&未満			A B C D		
		②児童の学びが深まるICT環境、読書環境を整え、また避難訓練や安全指導日などを通して、安全教育を推進し危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③安全点検を確実に行うとともに、食物アレルギーに関する事故防止に努めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標7 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくります	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	(コミュニティースクール) ①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートで「学校は、地域、外部の力(学習の専門家)をこどもたちの教育活動に活かしている。」の肯定的な評価の割合(4段階上位2位までの割合)	4:95%以上 3:90%以上 2:80%以上 1:80%未満			A B C D		
		②地域と連携した登下校の安全見守り活動等の、児童の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。 (家庭、地域の教育力向上)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④研究室訪問、国際交流、わくわくスクール等、東京科学大学や地域と連携した教育活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である　B:自己評価はおおむね適切である　C:自己評価は適切ではない　D:評価は不可能である　の4点